

1 総括

法人理念及び方針に基づき、令和元年度も事業を行いました。

特別養護老人ホームは従来型とユニット型が、それぞれ別施設として指定を受けておりますが、運営は一体で行っており、統計を含め、同一施設として報告させていただきます。

施設経営の基盤となる稼働率については、長期入所は月間稼働率95%以上を達成基準、短期入所は年間稼働率80%以上を目標としてまいりました。

長期入所は例年通り、ご利用者の体調管理に重点を置き、サービスの提供を行いました。

介護サービスの実施内容は以下に記載いたしますが、稼働率の目標については、長期は年間平均として96.2%と30年度より0.1%上昇し、目標は達成しております。

令和元年度は入院されたご利用者が年間延数で615人と30年度とより大幅に減少しています。

従前通り、嘱託医との連携、早期発見、早期治療に努め、入院を出来るだけ避ける努力は続けております。

空室対策については、退所者が発生した後、すぐに入居者をお迎えすることが出来る様に、短期連続利用者の確保や面接の先行実施を継続しておりますが、直ぐに入居に至る待機者が減少し、加えて入居申込者が少ない事も空室日軽減が進まぬ要因と言えます。必要に応じ、特例入居も実施しております。

短期入所は、30年度より9.8%上昇し、93.5%と目標は達成しております。今後も長期入居を希望されての連続利用者の確保は当然として、連続利用以外の定期ご利用者の確保を行う事も継続しなくてはなりません。

機能訓練については、重度化に伴う個別訓練の重要さは更に増し、現場からの個人訓練の希望も増えます。機能訓練の内容や優先度を考え、歩行訓練などはもちろん、ベッド上での関節可動域訓練や、個別訓練の優先度の検討は継続が必要であり、また集団訓練の内容も、ご利用者の重度化に応じた内容の検討や試行を続けている状況です。

感染症については、令和元年度はマスク着用の徹底、薬剤の早期散布などによって、感染の発生も拡散も抑える事が出来ました。今年の2月下旬より新型コロナウイルスの対応策として、職員個々がしっかりと感染症対策を行っています。又面会中止を行うなど、ご家族にご協力とご理解をお願いしています。

以下 表1に25年度以降の入院者延数、表2に稼働率を記載しております。

表1 《入院者延人数 平成25年4月～平成令和2年3月》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
長期	25	31	20	46	126	81	119	59	8	48	37	52	78	705
	26	21	8	30	18	0	24	54	49	35	0	19	7	265
	27	17	31	4	34	46	7	37	80	125	38	116	51	586
	28	24	91	178	119	104	80	85	74	52	76	75	38	996
	29	81	93	93	49	42	46	93	87	65	92	73	50	864
	30	79	46	57	77	52	117	89	132	62	34	26	54	825
	01	22	34	67	17	71	22	18	61	81	65	66	91	615

表2 稼働率 単位 % 平成25年4月～令和2年3月

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
長期	25	98.0	98.5	97.6	94.5	94.4	95.0	97.2	99.2	98.0	97.8	97.3	95.5	96.9
	26	96.6	98.7	98.0	97.2	99.3	98.6	95.1	97.0	96.3	98.0	97.6	99.0	97.6
	27	93.3	97.7	98.9	97.7	97.6	97.3	97.4	96.1	94.9	97.5	94.5	97.1	96.7
	28	97.1	96.6	93.0	92.7	94.6	96.4	95.9	96.1	97.1	94.6	95.0	97.6	95.3
	29	95.8	96.2	96.3	96.8	96.7	97.6	95.0	94.9	95.6	95.5	96.9	96.8	96.2
	30	95.9	98.3	97.3	96.7	96.4	94.8	94.5	92.4	96.3	97.5	97.4	96.6	96.1
	01	96.8	96.8	96.5	98.2	95.3	96.8	98.9	95.4	94.4	96.5	95.4	93.5	96.2
短期	25	72.3	71.4	70.4	62.3	66.1	58.3	69.0	63.8	62.9	61.1	62.1	73.2	66.1
	26	63.5	67.9	72.7	74.2	73.2	75.2	71.0	68.1	57.3	57.7	61.6	48.6	65.9
	27	71.4	62.7	69.0	75.6	77.9	75.2	80.2	85.2	80.6	83.9	88.7	74.7	77.1
	28	75.2	80.2	80.5	81.6	75.6	78.1	88.5	94.8	103.7	86.2	79.6	89.4	84.5
	29	91.4	91.2	90.0	85.3	71.9	83.8	86.2	85.7	83.9	77.9	86.7	37.8	80.9
	30	61.9	94.9	89.0	79.3	77.9	88.6	89.4	77.1	81.1	76.5	95.9	93.5	83.7
	01	90.0	99.1	103.3	94.0	94.9	93.3	88.5	98.6	87.1	85.7	90.6	96.8	93.5

* 稼働率のグラフは別添資料に記載しております。

2 実施方策の達成状況

(1) ユニットケアを基礎に置いた介護サービスの提供と「看取り介護」の継続

既存部でのグループケアは、職員の相互援助も含め継続して行っております。また、介護サービスの中でも重要さが増している「看取り介護」については、介護・看護職と配置医との連携により、令和元年度は29名の退去者のうち、18名のご利用者の「看取り介護」を実施しました。入居時に「看取り介護」の意向を伺うことも継続し、ほとんどの御家族が施設での「看取り」を希望されております。配置医からの説明や看護職からの状態報告など、ご家族の心情に配慮し、ご利用者の安寧と安楽を基本に、今後も「看取り」の充実を図ってまいります。

令和元年3月 ユニット構成は以下の様になっています。(令和2年3月31日現在)

ユニット名	虹A	虹B	花	彩	星	風	統括・看護	合計
利用者数	22	26	22	10	10	10		100
介護従事者数 (常勤換算)	7.6	9.6	8.6	6.0	6.0	7.2	5.5	50.5
深夜配置数	1	1	1	1	1	1		6

* 定員数 ÷ 介護従事者数は 令和元年3月31日現在で、御利用者1.98人に職員1名を配置

(2) ユニット関連会議

令和元年度は以下の会議を実施しました。会議は無駄のない進行に努め、時間に留意しております。会議後の研修及び日誌を会議に結び付けるためのユニット会議シートも継続して使用しております。各会議とも、議事録を作成し施設全体での周知体制は継続しております。

会議名	司会	頻度	内容
連絡会議	施設長	1回/週	施設の事業予定確認、検討事項の解決
給食会議	管理栄養士	1回/月	給食に関する事項

労働衛生委員会	施設長	1回/月	労働衛生に関する事項
事故防止検討委員会	施設長	1回/月	介護事故の報告・分析等
入居判定委員会	入居グループ課長	1回/月	入居の可否及び待機状況の共有
感染防止委員会	入居グループ課長	1回/月	感染症対策の現状分析等
身体拘束廃止会議	入居グループ課長	1回/月	身体拘束の現状と対策検討
ユニットリーダー会議	入居グループ課長	1回/月	全ユニットにて周知・調整が必要な問題の解決
ユニット会議	ユニットリーダー	1回/月	ユニット内の各種問題の協議と解決
健康管理T会議	健康管理Gリーダー	1回/月	入居者の健康状態および入退院状況等
相談員・ケアマネ会議	生活サポートG相談員	1回/月	法人内における、利用者等の情報共有

(3) かみかわユニットケア・サテライトケア研究会を含む他施設との連携

かみかわユニットケア・サテライトケア研究会は、定例の「ユニットケア実践発表セミナー」を、令和元年度は休止しましたが、生活相談員による各施設の情報交換などは継続して行われております。春光・末広つながり工房については、認知症サポーターズ育成講座など、年4回の活動を行いました。

(4) 公表制度を含む自己評価の実施

旭川市への書面調書提出と実地指導に合わせ、施設・人員基準を含め、提供しているサービスについて自己チェックを行っています。また、法人基本指針は会議毎に読み合わせをしております。

(5) 各種行事の企画

以下の行事を施設全体の行事として実施しました

開催時期	実施行事	参加対象
7月20日	夏祭り	ご家族・地域の方
8月7日	花火大会	ご家族・地域の方
9月15日	敬老会	ご家族・地域の方
11月13日	近文第二小学校交流会	地域の方
11月29日	地域交流お遊戯会	地域の方

施設内の行事として実施しました。

開催時期	実施行事	場所
誕生日	御利用者お誕生日	各ホール・居室等
5月1日～2日	カタクリ見学	男山自然公園
5月10日	さくら見学	村上山公園
5月21日	外出レク(畑の苗購入)	ホームック春光店
6月26日・7月3日・9日 18日 11月12日	外出レク(ショッピング)	旭川西イオンSC
7月24日	外出レク(ドライブ)	道の駅 絵本の里 けんぶち
8月20日・21日・29日	外食レク	魚べい 永山店
8月22日	ジンギスカンパーティー	施設内ピロティー
12月3日	室内レク(お汁粉作り)	各ユニット内

12月24日	クリスマス会	各ユニット内
12月27日	餅つき	各ユニット内
R2年1月10日	初詣	鷹栖神社
2月3日	節分 豆まき	2階ホール
2月10日	旭川冬まつり見学会	旭川冬まつり会場
3月3日	ひなまつり	各ユニット内

上記の行事の他に、令和元年11月17日（日）に旭川市消防署主催で旭川市民文化会館にて行われたコンサートへご利用者9名が参加しています。

また、花火大会はご家族や地域の皆様の参加も多くなり、近隣の皆様にも好評を得て継続しております。令和元年10月20日（日）には恒例となりました、東鷹栖東市民委員会主催の地域カラオケ大会にご招待頂き、ご利用者9名と職員8名合わせて17名で参加させて頂きました。

（6）意向調査の継続

新規入居者の御家族には、当施設の医療的対応と看取りについての指針を説明させて頂き、その上で終末期の意向及び突然死の場合の医療機関搬送について、意向調査票をご記入いただく調査を継続しております。現在、御入居者全員の意向を把握しております。

また、御入居者・ご家族の意見等をお聞きするために、施設内に設置しております投書箱には、今年度も投書はありませんでした。

（7）広報活動

広報委員会による、法人広報誌の発行及びインターネットでのホームページの更新は実施されており、長期入居者の近況をお知らせする、御家族への「連絡シート」も継続しております。

（8）研修実績

① 外部研修一覧

年	月	日	研修名	場所	参加者	名
R1	5	11～12	第7回全国地域包括ケア研究会	鷹栖	理事長	1
	6	6	認知症基本的対応技術 カンフォーダブルケア	旭川	介護職員	1
	6	11	第15回「医療と福祉の連携に関する座談会」	旭川	施設ケアマネ・介護職員	3
	6	28	介護職員医療従事者等研修会	比布	介護職員	2
	7	3～4	全道老人福祉施設研究大会 第39回老人福祉施設研究発表会	札幌	理事長・施設長・看護職員・相談員	5
	7	15～16	介護職員初任者研修会	名寄	介護職員	1
	7	18～19	多職種協働による自立支援と重度化対応・重度化予防研修	札幌	管理栄養士・介護・看護職員	3

	7	19	OJT 指導担当者育成セミナー	札幌	副施設長	1
	7	31	褥瘡ケアの基本	旭川	介護職員	1
	8	29	つながり工房「認知症サポーター養成講座」	旭川	介護職員	3
	9	5～6	道北地区老施協事務職員研修	枝幸	理事長	1
	10	2	北海道高齢者虐待防止推進研修会	旭川	主任ケアマネ・介護職員	2
	10	4	通所ケアマネジメント研修	札幌	相談員	1
	10	7～8	多職種協働による自立支援と重度化対応・重度化予防研修	札幌	管理栄養士・介護・看護職員	3
	10	19～20	社会福祉士実習指導者研修	札幌	相談員	1
	10	16～17	道北地区老人福祉施設協議会「看護職員研修会 ～自立支援から看取りまで」	上川	看護職員	1
	10	28	感染症予防対策研修会	旭川	看護職員	1
	11	8	アセッサー講習	札幌	副施設長	1
	11	12	実践できる口腔ケア～加齢に伴う口腔の変化・口腔ケアの関わり	旭川	介護職員	1
	11	17	介護施設における口腔ケアについて	旭川	介護職員	1
	11	20	第76回全国福祉施設大会 茨城大会	茨城	理事長・施設長・副施設長	3
	11	20	苦情解決システム研修会	旭川	相談員	1
	12	6	社内ネットワーク管理に役立つLANの基礎	旭川	相談員	1
R2	1	14～15	多職種協働による自立支援と重度化対応・重度化予防研修	札幌	管理栄養士・介護・看護職員	3
	1	30～31	道北老施協施設長研修	札幌	理事長・施設長	2
	2	11	肝疾患医療従事者研修会	旭川	看護職員	1
	2	13	第36回療養生活サポートセミナー 施設で暮らし続けるために	旭川	看護職員	1
	2	21	苦情解決責任者等研修会	旭川	相談員・介護職員	2

② 研修体制の継続

外部研修では、道北地区老人福祉施設協議会主催の研修は全てに参加しました。他にも日々の業務の参考になるものや、新たな制度に対応できるように研修を受講しております。

③ 内部研修実施一覧（法人内実施分）

年	月	日	内容	講師	参加
31	3	25～29	平成31年度 新入職員研修	理事長・施設長・グループリーダー チームリーダー・外部講師	6名

ユニット会議後の勉強会（たいせつの郷分）

年	月	日	内容	講師	参加
31 01		ユニット会議 後	接遇 ～ご利用者との関わり～	看護職・ 入居グループ 課長等	ユ ニ ツ ト 会 議 参 加 者
			認知症ケアについて～ご利用者への適切な声掛け～		
			「高齢者の足のむくみ」について ～みんな足がむくんでいる（研究発表）		
			食中毒の原因と予防		
			終末期の看取り ～介護が担う役割と心構え～		
			感染症～ノロウイルスについて～ 予防と処理の方法		
			介護員のコツ 食事介助・姿勢		
			ノロウイルス・インフルエンザの予防		
			認知症ケアについて 「思いやる心で伝えるユマニチュード」		
			02		
感染予防 ノロウイルスについて					
感染予防 新型コロナウイルスについて					

新人研修は、介護の基礎知識・技術に重点を置き、5日間にわたり研修を行いました。

オムツについてはメーカーの講師を招へいし、排泄介助への不安にこたえる事を念頭に実施しました。ユニット会議後の勉強会では、基礎介護を中心に研修を進めております。業務の再確認や介護の知識・技術の確認にも活用しました。また、看取りや接遇・ノロウイルス・インフルエンザ等の感染症に関しては複数回の講義を盛り込んでいます。

又、今年度より、中期事業計画の中の「人材確保と定着並びに育成」「人材育成」「施設間の人事交流」と連動してユニットリーダーを対象とした研修を4月より5回行いました。

④ エルダー制の継続

令和元年度は4月の新入職員は2名でした。中途採用者にもマンツーマンで先輩職員が対応するエルダー制を実施し、同一勤務等通じ、OJTを行いました。ユニットリーダーのサポートもあり、制度としての定着しておりますが、職員の年齢や経験年数の構成も変化しており、対応を順次更新しております。

(10) 家族との連携強化

家族との連携強化ではご利用者個別に「生活の様子」を連絡シートにて3ヶ月に1度発信し、ご家族との連携強化を継続しております。